

＼ようこそ！ 校友会へ！

専大校友がともに創る未来。

この4月、約4,500人が専修大学を卒業し、「専修大学校友会」の新たな仲間となりました。今回の座談会は小宮校友会長がフレッシュな新校友をお迎えして「校友会ってなに?」「新社会人としての不安・悩み」などにお答えします。



小宮多喜次
校友会長



桐沢彩芽さん
(きりさわ あやめ)
経営学部 経営学科卒業
株式会社セールスフォース・ドットコムに就職



小田貴大さん
(おだ たかひろ)
法学部 法律学科卒業
株式会社千葉銀行に就職



遠藤智貴さん
(えんどう ともき)
商学部
マーケティング学科卒業
東京都信用農業協同組合
連合会に就職



社会へ飛び出す 新校友たち

小宮校友会長 ●ご卒業、おめでとうございます。

小田、桐沢、遠藤 ●ありがとうございます。

小宮会長 ●みなさんはこれから新社会人となりますが、校友会の正会員としても新人となります。校友会はご存じでしたか？

小田 ●あまりよくわかりません。

桐沢 ●ワイン大学^(※1)などで存在は知っていました。

遠藤 ●ほとんどわかりません。

編集部 ●校友会は本学の全卒業生とその賛同者だけが所属できる会となります。地域ごとに組織化されており、支部ごとの活動も盛んに行われています。その活動をまとめているのが校友会誌『Adonis』となります。

小宮会長 ●大学には在学中、いろんなサークルがありますよね。ところが卒業しちゃうと、みんなてんでんばらばらになるでしょ、仕事や家庭が優先となりますから。しかし、てんでんばらばらになった人たちが、何かの時に集まってきて、皆で語り合ったり、悩みを相談したりする。そのなかには年寄りから若い人までおり、いろんな職業の方がいるわけで、一種の異業種会合みたいなところもあるわけです。

編集部 ●社会人となり、キャリアを重ねることで校友同士の繋がりの大切さを感じる場面も多くなりそうですね。では新社会人となるみなさんの出身学部とご就職先をお教えてください。

小田 ●はい。法学部法律学科の小田貴大と申します。私は地方銀行の千葉銀行に内定をいただいて、4月から入行させていただくのですが、就職活動を始めた当初、今まで何を考えてどういうふう生きてきたかとか、これから

の社会貢献を考えたときに、自分のこれまでの経験等を踏まえて「私と関わった人々の人生のプラスになりたい」という思いを持ち、銀行への就職を決意しました。地方銀行にした理由は、父親が転勤族でありましたので、引っ越しは嫌だったので、選びました。

小宮会長 ●今はどこに住んでるの？

小田 ●東京です。もともと千葉に長く住んでいて、高校は専修大学松戸高校であり、愛着を感じていたので、千葉で働きたいなと思っていて、千葉銀行を選びました。

桐沢 ●経営学部経営学科の桐沢彩芽と申します。よろしくお願ひします。私の内定先は、株式会社セールスフォース・ドットコムという、本社がアメリカにある外資系のIT企業です。もともと第一志望で、かつ、この会社一本で就職活動をしていました。そんなリスクの高いことをするなと周りに非難されましたが(笑)。専修大学に入った時点で、ずっと外資系に勤めたいという気持ちがあって、グローバル規模でテクノロジーの最先端で活躍している企業で働きたいなとずっと思っていたんです。いろいろある会社の中でもセールスフォースは、一番革新的でアグレッシブな会社だなと。そこが本当に自分に合った会社だと思ったので志望しました。

小宮会長 ●セールスフォースって、どういうことを主にやってるんですか。

桐沢 ●CRMという顧客管理システムや、SFAという営業支援システムをクラウドサービス^(※2)として法人向けに提供しています。横文字ばかりですみません(笑)。ITはもともと興味のある

※1 2006年から毎秋、ボジョレー・ヌーボーの解禁日にあわせて神田キャンパスで開催している校友会主催のワイン講座。

※2 インターネットなどのネットワークを介してデータやソフトウェアを利用者に提供するサービス。